

# 新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正事項分

(2025年12月 第1回訂正分)

## 株式会社リブ・コンサルティング

ブックビルディング方式による募集の条件及びブックビルディング方式による売出しの条件等の決定に伴い、金融商品取引法第7条第1項により有価証券届出書の訂正届出書を2025年12月9日に関東財務局長に提出しておりますが、その届出の効力は生じておりません。

### ○ 新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正理由

2025年11月20日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、ブックビルディング方式による募集1,300,000株の募集の条件及びブックビルディング方式による売出し597,500株(引受人の買取引受による売出し350,000株・オーバーアロットメントによる売出し247,500株)の売出しの条件並びにこの募集及び売出しに関し必要な事項を2025年12月9日開催の取締役会において決定したため、これらに関連する事項並びに「第二部 企業情報 第1 企業の概況 3 事業の内容 (3) 事業の特徴 8 買収後のバリューアップにフォーカスしたM&A戦略」及び「第2 事業の状況 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等 (2) 経営戦略 4. 採用・育成体制の特徴、(3) 経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等」の記載内容の一部を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出いたしましたので、新株式発行並びに株式売出届出目論見書を訂正いたします。

○ 訂正箇所及び文書のみを記載してあります。訂正部分には\_\_\_\_罫で示し、ゴシック体で表記しております。

## 第一部 【証券情報】

### 第1 【募集要項】

#### 1 【新規発行株式】

＜欄外注記の訂正＞

(注) 2. 「第1 募集要項」に記載の募集(以下「本募集」という。)及び本募集と同時に行われる後記「第2 売出要項 1 売出株式(引受人の買取引受による売出し)」に記載の売出し(以下「引受人の買取引受による売出し」という。)に伴い、その需要状況等を勘案し、247,500株を上限として、SMB C日興証券株式会社が当社株主である関徹(以下「貸株人」という。)より借り入れる当社普通株式の売出し(以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。)を行う場合があります。オーバーアロットメントによる売出しに関しましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 2 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照ください。

これに関連して、当社は、2025年11月20日開催の取締役会において、本募集及び引受人の買取引受による売出しとは別に、SMB C日興証券株式会社を割当先とする第三者割当による当社普通株式247,500株の新規発行(以下「本第三者割当増資」という。)を決議しております。その内容に関しましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 3 第三者割当増資について」をご参照ください。

3. 本募集及び引受人の買取引受による売出しに関連してロックアップに関する合意がなされておりますが、その内容に関しましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 4 ロックアップについて」をご参照ください。

4. 当社の定める振替機関の名称及び住所は、以下のとおりであります。

名称：株式会社証券保管振替機構

住所：東京都中央区日本橋兜町7番1号

(注) 2. の全文削除及び 3. 4. 5. の番号変更

## 2 【募集の方法】

2025年12月17日に決定される予定の引受価額にて、当社と元引受契約を締結する予定の後記「4 株式の引受け」欄記載の金融商品取引業者(以下「第1 募集要項」において「引受人」という。)は、買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額(発行価格)で募集を行います。引受価額は2025年12月9日開催の取締役会において決定された会社法上の払込金額(発行価額782円)以上の価額となります。引受人は払込期日に引受価額の総額を当社に払込み、本募集における発行価格の総額との差額は引受人の手取金といたします。当社は、引受人に対して引受手数料を支払いません。

(略)

<欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「資本組入額の総額(円)」の欄：「550,160,000」を「574,080,000」に訂正。

「計(総発行株式)」の「資本組入額の総額(円)」の欄：「550,160,000」を「574,080,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注) 3. 発行価額の総額は、会社法上の払込金額の総額であります。

5. 仮条件(920円～1,000円)の平均価格(960円)で算出した場合、本募集における発行価格の総額(見込額)は1,248,000,000円となります。

## 3 【募集の条件】

(2) 【ブックビルディング方式】

<欄内の数値の訂正>

「払込金額(円)」の欄：「未定(注)2」を「782」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注) 1. 発行価格は、ブックビルディング方式によって決定いたします。

仮条件は、920円以上1,000円以下の価格といたします。

当該仮条件は、当社の事業内容、経営成績及び財政状態、事業内容等の類似性が高い上場会社との比較、価格算定能力が高いと推定される機関投資家等の意見及び需要見通し、現在の株式市場の状況、最近の新規上場株の株式市場における評価並びに上場日までの期間における価格変動リスク等を総合的に検討して決定いたしました。

当該仮条件による需要状況、上場日までの価格変動リスク等を総合的に勘案した上で、2025年12月17日に発行価格及び引受価額を決定する予定であります。

需要の申込みの受付に当たり、引受人は、当社株式が市場において適正な評価を受けることを目的に、機関投資家等を中心に需要の申告を促す予定であります。

2. 払込金額は、会社法上の払込金額であります。また、前記「2 募集の方法」の冒頭に記載のとおり、会社法上の払込金額(782円)及び2025年12月17日に決定される予定の発行価格、引受価額とは各々異なります。発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

8. 引受価額が会社法上の払込金額(782円)を下回る場合は本募集を中止いたします。

#### 4 【株式の引受け】

＜欄内の数値の訂正＞

「引受株式数(株)」の欄の各引受人の引受株式数：「未定」を「S M B C日興証券株式会社1,217,800、野村證券株式会社33,000、株式会社S B I証券16,500、岡三証券株式会社8,200、岩井コスモ証券株式会社8,200、マネックス証券株式会社8,200、楽天証券株式会社4,100、松井証券株式会社2,400、あかつき証券株式会社1,600」に訂正。

＜欄外注記の訂正＞

- (注) 1. 上記引受人と発行価格決定日(2025年12月17日)に元引受契約を締結する予定であります。  
2. 引受人は、上記引受株式数のうち、2,000株を上限として、全国の販売を希望する引受人以外の金融商品取引業者に販売を委託する方針であります。

#### (注) 1. の全文削除及び2. 3. の番号変更

#### 5 【新規発行による手取金の使途】

##### (1) 【新規発行による手取金の額】

＜欄内の数値の訂正＞

「払込金額の総額(円)」の欄：「1,100,320,000」を「1,148,160,000」に訂正。

「差引手取概算額(円)」の欄：「1,090,820,000」を「1,138,660,000」に訂正。

＜欄外注記の訂正＞

- (注) 1. 払込金額の総額は、会社法上の払込金額の総額とは異なり、新規発行に際して当社に払い込まれる引受価額の総額であり、仮条件(920円～1,000円)の平均価格(960円)を基礎として算出した見込額であります。

##### (2) 【手取金の使途】

上記の差引手取概算額1,138,660千円に、本第三者割当増資の手取概算額上限218,592千円と合わせた手取概算額合計上限1,357,252千円については、以下に充当する予定であります。

当社グループの事業領域であるコンサルティング領域においては支援ニーズの多様化も進んできており、優秀な人材の獲得は成長力の源泉であり、持続的な成長のため、新卒の採用、育成及び即戦力となる優秀なコンサルタントの継続採用は必要不可欠であります。そのため、人材の採用費用及び人件費として、1,357,252千円(2026年12月期：569,130千円、2027年12月期：788,122千円)を充当する予定であります。

なお、上記調達資金は、具体的な充当期まで、安全性の高い金融商品等で運用していく方針であります。

## 第2 【売出要項】

### 1 【売出株式(引受人の買取引受による売出し)】

＜欄内の数値の訂正＞

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額(円)」の欄：「322,000,000」を「336,000,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額(円)」の欄：「322,000,000」を「336,000,000」に訂正。

＜欄外注記の訂正＞

(注) 6. 振替機関の名称及び住所は、前記「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)4に記載した振替機関と同一であります。

7. 売出価額の総額は、仮条件(920円～1,000円)の平均価格(960円)で算出した見込額であります。

### 3 【売出株式(オーバーアロットメントによる売出し)】

＜欄内の数値の訂正＞

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額(円)」の欄：「227,700,000」を「237,600,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額(円)」の欄：「227,700,000」を「237,600,000」に訂正。

＜欄外注記の訂正＞

(注) 4. 振替機関の名称及び住所は、「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)4に記載した振替機関と同一であります。

5. 売出価額の総額は、仮条件(920円～1,000円)の平均価格(960円)で算出した見込額であります。

## 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

### 3 第三者割当増資について

上記「2 オーバーアロットメントによる売出し等について」に記載のSMB C日興証券株式会社を割当先とする本第三者割当増資について、当社が2025年11月20日 及び2025年12月9日開催の取締役会において決議した内容は、以下のとおりであります。

(1)	募集株式の数	当社普通株式 247,500株
(2)	募集株式の払込金額	<u>1株につき782円</u>
(3)	増加する資本金及び資本準備金に関する事項	増加する資本金の額は、割当価格に基づき、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとします。また、増加する資本準備金の額は、当該資本金等増加限度額から上記の増加する資本金の額を減じた額とします。(注)
(4)	払込期日	2026年1月27日(火)

(注) 割当価格は、1株につき、前記「第1 募集要項 3 募集の条件 (2)ブックビルディング方式」に記載の本募集における引受価額と同一とし、2025年12月17日に決定します。

(注) 1. の全文及び2. の番号削除

## 第二部 【企業情報】

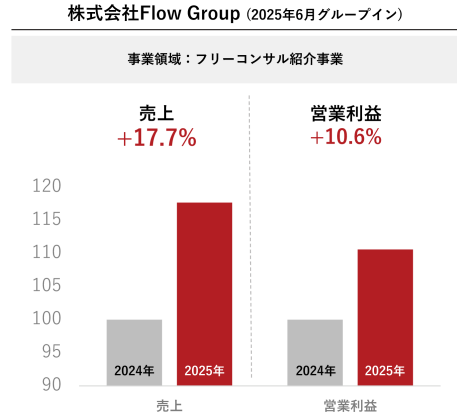
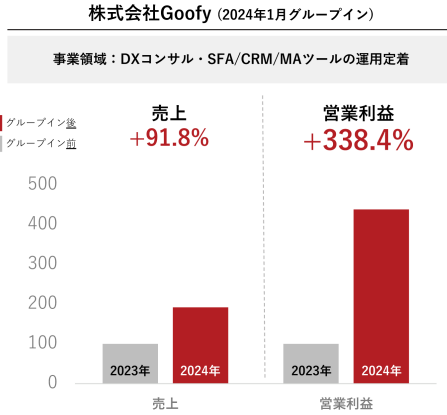
### 第1 【企業の概況】

#### 3 【事業の内容】

##### (3) 事業の特徴

##### 8. 買収後のバリューアップにフォーカスしたM&A戦略

＜グラフの注釈の訂正＞



### 第2 【事業の状況】

#### 1 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

##### (2) 経営戦略

##### 4. 採用・育成体制の特徴

(省略)

このような取り組みが評価され当社は世界60か国で展開している世界最大級の意識調査機関であるGreat Place to Work®Instituteにより日本の中規模企業部門で2015年より12年連続で「働きがいのある会社」ランキングを受賞しております。

##### (3) 経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

(省略)

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高（百万円）注1	2,210	2,645	3,360	3,957	4,976
調整後EBITDA（百万円）注2	102	332	256	31	554
期中平均コンサルタント数（人）注3	—	—	133	166	157
コンサルタント1人あたり売上高（百万円）注4	—	—	24.0	20.5	23.4

- (注) 1. 2020年～2022年はリブ・コンサルティング単体売上高、2023年以降は連結売上高を記載しております。
2. 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+本店移転関連費用+取得関連費用で算出しております。2020年～2022年はリブ・コンサルティング単体の数値、2023年以降は連結数値を使用しております。
3. 期中平均コンサルタント数は、リブ・コンサルティング単体の数値です。期末に在籍していた社員の内、HR事業部・コーポレート本部・内部監査室・未配属（研修期間）・SaaS事業の社員を除いた社員数の期中平均値です。2022年12月期より集計を始めたため、2020年12月および2021年12月期は記載を省略しております。
4. コンサルタント1人あたり売上高は、リブ・コンサルティング単体の数値、国内コンサルティング事業の売上高と「期中平均コンサルタント数」を使用して算出しております。